

石油化学



- 超低硫黄 -

硫黄は燃焼すると大気中で硫酸を形成し、人体や環境に悪影響を及ぼすことから、定量が重要な元素です。

2000年代半ば、米国環境保護庁(EPA)は石油製品に含まれる硫黄の量を大幅に削減するプログラムを開始しました。

現在の自動車燃料中の硫黄の許容量は15ppm(百万分率)です。

また、船舶からの汚染を減らすため、国際海事機関 (IMO)は硫黄酸化物の排出制限を新たに設定しております。

IMOは170以上の加盟国からなる世界最大の海事機関であり、「MARPOL Annex VI」と呼ばれる硫黄酸化物の監視・管理下記の通りECA（排出規制区域）内とECA外に分かれています。

ECA外のSOx(Sulfur OxideS)に関するIMO規則	ECA内のSOx(Sulfur OxideS)に関するIMO規則
2012年1月1日以前：4.5%(45000ppm)	2010年7月1日以前：1.5%(15000ppm)
2012年1月1日以降：3.5%(35000ppm)	2010年7月1日以降：1.0%(10000ppm)
2020年1月1日より：0.5%(5000ppm) 最終値	2015年1月1日より：0.1%(1000ppm) 最終値

●硫黄分の削減戦略により、燃料と石油製品の硫黄分におけるモニタリングが大きな需要となっています。

Xenometrix社 エネルギー分散型蛍光X線 (ED-XRF) 分析装置は、最もシンプルで高精度、非破壊、価格性能に優れた分析装置で、ASTM法の要件を満たした硫黄の高精度かつ高精度な測定を迅速に行うことが可能です。

また、初期投資を数か月以内に回収できるように設計された、費用対効果の高い保守管理ツールです。

☐ ASTMに準拠

D7212, D4294, ISO20847, IP531など、低硫黄分析の厳格な国際標準法に準拠。

※D4294は、ED-XRFの使用に焦点をあてた試験法です。

- ◆上記関連機種 製品ページ：<http://www.ogawaseiki.jp/products/products2/> 蛍光X線分析装置
対象品番：OSK083YN100～800



OSK オガワ精機株式会社

[高田馬場支店]

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-10-11

TEL：03-6908-5257 FAX：03-6908-5258

Email：sales@ogawaseiki.jp.org